

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日)7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

〔ホームページ〕<http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

5月聖母月



ファチマの聖母

差し出され、受けること

最近の新聞記事の一文。

「いとも簡単に人々から日常を奪い社会の安定や繁栄を崩す、目に見えないウイルスが秘めた破壊力を世界は目の当たりにした。」

人の身体を破壊し、人の心、そして人間関係や社会の秩序も壊す感染症。これまで当たり前だったことができなくなった。準備していた予定を変更しなければならず、人々に望ましくない変化を生じさせた。歯車を狂わされた人の心の窓からいろんなストレスが顔を出す。恐ろしい何ものかに襲われている私たち。

以前ある信徒から、東日本大震災直後に歌手の松山千春さんが話された言葉を教えていただいた。

「知恵がある奴よ、知恵を出そう。力がある奴よ、力を出そう。金がある奴よ、金を出そう。『自分は何も出せないよ』っていう奴は、元気出せ。」

厳しい現実、それぞれの立場で今、知恵・力・金・元気を真剣に命がけで出している方々がおられる。感謝。信仰者である私たちも差し出さなければ。こんな時のために蓄え培ってきた信仰を、他者への思いやりを、感情的になるのではなく落ち着きと忍耐を、助け合う心と行いを、前向きな思いで工夫を、ミサにあずかれないけれどそれぞれの場で一致して捧げる祈りを、何よりも希望を差し出さなければ。「すべての人にキリストの光でありなさい」と呼びかけられている私たちなので。

困難な今、キリストは私たちが待ち望んでいた贈り物を差し出してくださった。福岡教区に『アベイヤ司教様』を。アベイヤ司教様は最初の挨拶で、私たちにこう呼びかけてくださった。「『一緒に』歩みたい」と。福岡教区長として歩み始められる司教様。新型コロナウイルス感染症を共に乗り越えることを通して、神の国を「伝える喜びを『一緒に』」深めましょうということなのは。

信徒の皆さん、見える形で聖堂に集まり共にミサを捧げることができないことおゆるしくください。病人、高齢者の皆さん、ご聖体をお持ち出来ないことおゆるしくください。

しかし皆さんは知っておられるはず。「今、地球という祭壇で痛みを持ってミサを捧げておられるキリストが、人の思いを超えた特別なご聖体を授けてくださっている」ことを。

カトリック大名町教会
主任司祭 杉原 寛信 神父